

行政的 環境 広域 区分	気象環境区分 (市町村名)	気象環境の特徴					
		SE風頻度 (夏)	弱風頻度 (夏)	風速 (夏)	日照時間 (夏)	海風頻度	海風の 吹続時間
登米 圏	南部 豊里, 米山, 南方, 登米	$\geq 50\%$	$50 \sim 70\%$	$\div 2.0 \text{ m/s}$	$\div 700 \text{ h}$	$80 \sim 90\%$	$8 \sim 9 \text{ h}$
	北部 石越, 迫, 中田, 東和	$50 \sim 40\%$	$70 \sim 80\%$	$1.5 \sim 2.0 \text{ m/s}$	$\div 700 \text{ h}$	$70 \sim 80\%$	$7 \sim 8 \text{ h}$
気仙沼・ 本吉 圏	北部 唐桑, 気仙沼	$\leq 30\%$	$\leq 70\%$	$\leq 2.0 \text{ m/s}$	$\geq 650 \text{ h}$	$\div 80\%$	$8 \sim 9 \text{ h}$
	南部 歌津, 志津川, 本吉	$30 \sim 50\%$	70% 前後	$\leq 2.0 \text{ m/s}$	$600 \sim 650 \text{ h}$	$\div 70\%$	$\div 9 \text{ h}$
	西部 津山	$\geq 50\%$	50% 前後	$2.0 \sim 2.5 \text{ m/s}$	$\div 650 \text{ h}$	$\div 90\%$	$\div 10 \text{ h}$

1) 代表気象

気象要素は、季節・時間帯別、風向・風速別大気安定度頻度表を基礎にモデルの精度を損わない範囲で次のとおり簡略化し設定した。

イ 無風区分の修正

測定局データ（風向、風速、濃度）の特性を調べると、無風（ 0.3 m/s 以下）と $0.3 \sim 1.0 \text{ m/s}$ における平均濃度に余り差異がないことと $0.3 \sim 1.0 \text{ m/s}$ における風向間のばらつきが小さいことから、 1.0 m/s 以下を無風として扱うことにした。

ロ 大気安定度の集約化

仙台管区気象台データ（雲量）と多賀城-2局データ（風速、日射量）より季節時間帯別に大気安定度、頻度分布を表-22のとおり作成すると、度数の少ない階級があるため、表-23のとおり同一階級への集約化を図った。

有風時	
安定度 区分	暖 夜
A	0
A-B	0
B	0
B-C	0
C	0
C-D	0
D	312 (17.54) [17.33]
E	327 (18.38) [18.17]
F	1,140 (64.08) [63.33]
計	1,779

無風時	
安定度 区分	暖 夜
A	0
A-B	0
B	0
B-C	
C	
C-D	
D	0
E	0
F	21 (100.0) [1.17]
計	21
合計	1,800